

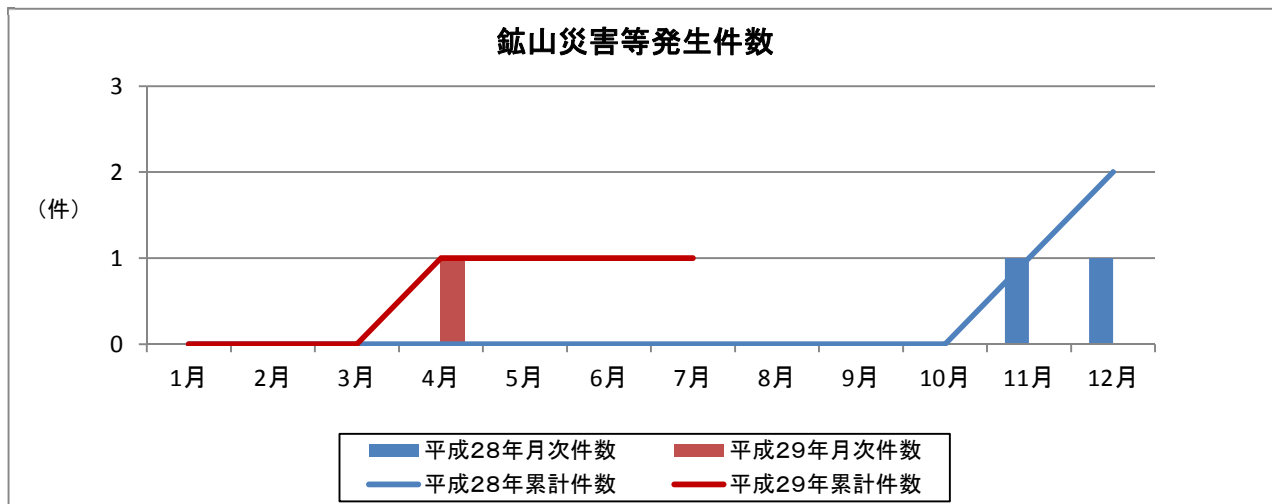
【平成29年】

■管内における事故発生状況(7月速報値)

※数値は事故速報ベースであり、各月のデータ積み上げが年累計と異なる場合があります。

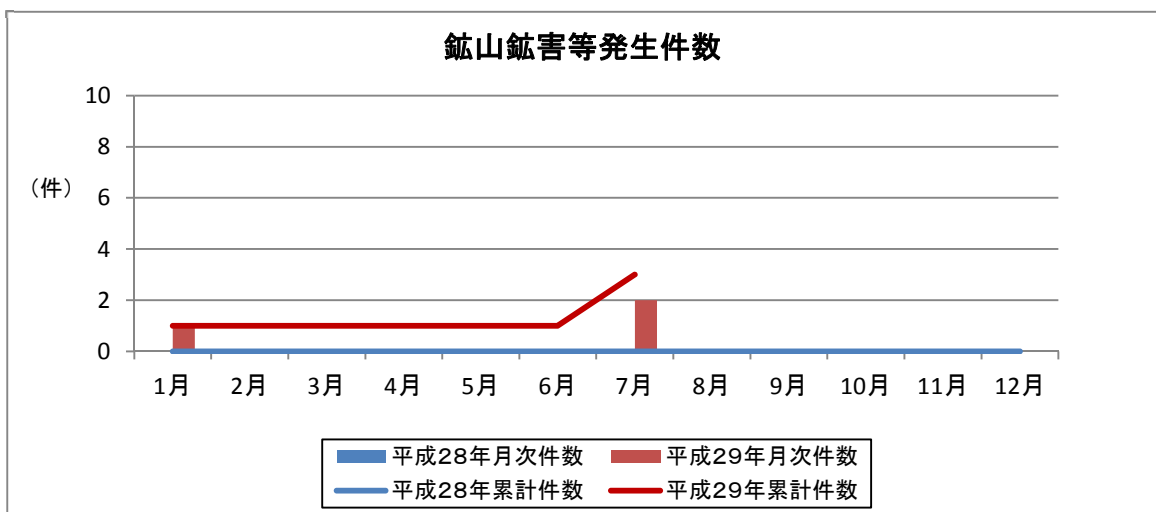
○鉱山保安法関連(災害等)

災害等の種類	29年7月分				前月件数	前年同月 件数	29年累計				28年累計			
	件数	死傷者数					件数	死	重	軽	件数	死傷者数		
		死	重	軽								死	重	軽
火災														
取扱中の器材鉱物等のため										1			1	
運搬装置のため(車両系鉱山機 械又は自動車のため)													1	1
運搬装置のため(その他)													1	1
墜落														
転倒														
灼熱溶融物のため														
落下物又は倒壊物														
その他														
合 計	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	2	0



○鉱山保安法関連(鉱害等)

鉱害等の種類	29年7月分	前月件数	前年同月 件数	29年累計	28年累計
坑廃水	0	0	0	0	0
鉱煙	0	0	0	0	0
粉じん	0	0	0	0	0
集積場	0	0	0	0	0
騒音・振動	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	1	0
小計	0	0	0	1	0
その他自然災害に伴う鉱害	2	0	0	2	0
合計	2	0	0	3	0



7月22日:風水害(秋田県、2鉱山)

①当該施設は、原水集水槽に集水された鉱山の坑内水及び集積場浸透水等を中和処理し、沈殿地を經由して排出している。

当日36.5mm/hの降雨があり、通常処理している原水の他、沢水が増水し原水集水槽に流入し、最大処理能力を超えた処理原水量の急激な増加となり、中和処理が一時的に追いつかない状況となったため、12時50分～13時5分の間にpHの基準(5.8～8.6)超過となった。

作業員は13時に現地に到着後、中和処理施設へ中和剤の直接添加を行った。

基準超過した廃水の流出量は、推定で111m³、流出期間15分。

②当該施設は、通常、集積場の場内廃水を送水する施設であり、送水能力以上の廃水があった場合は、集水槽から越流し、中和処理後に沈殿地を經由して排水している。

当日52mm/hの局地的降雨により、場内廃水が急増し、集水槽から越流した処理原水が直接隣接する山腹水路に溢流したため、溢流した原水に直接中和剤添加を行った。

溢流量は、推定で6.6m³、溢流期間66分(11時30分～12時36分)。